

OTK つなぐ

2021 Report

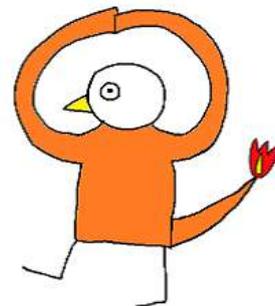


活動報告書 2021

多くの方に支えていただき、寝屋川市民たすけあいの会は、2018年の台風21号での被災と道路各府による建物の取り壊しと敷地の縮小などを乗り切ってきました。そんな感謝をこめて、そして、今後の新しい活動の方向性をお伝えするために、新しい形の活動レポート（年次活動報告）をお届けいたします。

なお、いままで発行していましたが「事業報告書」はこれまでと同じ形式で、ホームページに掲載しております

2021年 ありがとうございました
2022年 よろしくお祈いします



特定非営利活動法人

寝屋川市民たすけあいの会

後藤 雅子 多久 寛子 中務飛鳥

【2021年度 寝屋川市民たすけあいの会 活動報告】

もくじ

- ・復興のご報告
- ・ぼちぼちはうす&ゆと・りろ ー日中活動ー
- ・寝屋川コミュニティフリッジ
- ・ボランティア活動&ハートアート展
- ・トラベリングボックス
- ・ひきこもり者支援
- ・相談支援
- ・その他の活動
- ・財務状況の報告



寝屋川市民たすけあいの会のLINEスタンプ 発売しています！



寝屋川市民たすけあいの会のLINEスタンプは第1弾は昔から使っていたイラストをNEFNEさんのご協力でスタンプ化して発売しました。第2弾はたすけあいの会にかかわっているメンバーさんがオリジナルで作成。第3弾も準備中です。

大きな節目と復興

2018年9月4日 関西地方を襲った台風21号にて寝屋川市民たすけあいの会は建物の倒壊、半壊という大きな災害を被りました。



2018年9月の台風21号の被災時から、のべ630人・団体のみなさまからの寄付と募金により、総額 ¥20,187,453円をいただきました。

それに加えて、[被災障害者支援 認定NPO法人ゆめ風基金](#)様からの500万円の救援金を受けました。しかし、それでも、「ぼちぼちはうす」を再建するには資金が不足し、近畿ろうきんからの3500万円の借入れを行いました。

その間に、寝屋川市長栄寺町5番1号の土地や建物の権利関係の話が続けました。もともと「寝屋川市民たすけあいの会」は、店子として建物を大家さんに借りている関係でした。大家さんは地主さんに古くから土地を借りておられました。今回、当会の前の道路（大利対馬江線）の拡幅に伴う立ち退きによって、もとの土地の約1/3が収用されただけでなく、この関係も見直すことになり、結果、2021/4/1から寝屋川市民たすけあいの会が地主さんから土地を30年（最大49年）の事業用定期借地権契約を結び、お借りし続けることができるようになりました。



もともと、たすけあいホーム（ボランティア・ビューロー）のあったところに新しい「ぼちぼちはうす」が建っています



旧前の入口のあった側からみるとこんな感じになります。

写真でみるよりも実際の変り様は、想像以上らしく、みなさん、びっくりされます。



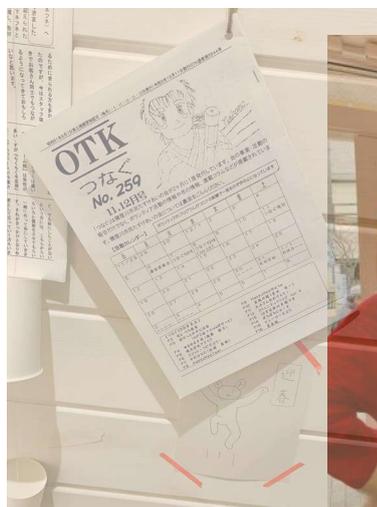
← 昔の裏戸口から入ったところが現在の事務所になります。

寝屋川市民たすけあいの会の運営する日中活動の場は大きくは主に重度重複障害の方が通う「ぼちぼちはうす」、主に精神障害の方が通う「ゆと・りろ」、そして主に、高次脳機能障害の方が通うユニットの3つがあり、そこに「リハビリ」が加わっています。制度的には障害者総合支援法の【地域活動支援センターⅡ型】と重度障害者等包括支援制度を使って支援者がついての日中部分となります。

ぼちぼちはうす



なんといっても今年は新しい「ぼちぼちはうす」の建て替え。ようやく、落ち着くことができました。それまでたくさんあった敷地内の樹木がなくなったので、いろいろな果樹を植えたり、中庭ができたので、そこを使つての活動ができるようになってきました。



なかなか活動として街に出ることが難しい中、少しずつ。。。 (写真は「つなぐ」をお届けに行ったとき)



宇陀市の【アクティブセンターうだ】さんと、定期的にオンラインで交流しています。

←トカラやぎのメイちゃん



【コミュニティフリッジ（公共冷蔵庫）とは？】

公共冷蔵庫、もしくはコミュニティ・フリッジは、公共空間の中にある冷蔵庫（refridgerator、口語的にはfridge）のことです。公共冷蔵庫は、コミュニティの中で食べ物を共有できるようにする相互扶助プロジェクトの一種であると言われていて、2010年代からヨーロッパから全世界に広がっています。

寝屋川コミュニティフリッジ



2021年10月29日の開設日には、システム移築元の岡山の北長瀬コミュニティフリッジからお祝いにかけていただきました。



「寝屋川コミュニティフリッジ（公共冷蔵庫）」は、新館の旧ぼちぼちはうす側の建物の一部を改装し、スタートしました。新型コロナウイルスの影響で、その中心となる冷蔵庫・冷凍庫の確保が間に合いませんでしたが、①月末に、フクシマガリレイ様に寄付いただきました。

さまざまな整備をすすめながら、「コミュニティフリッジ・ネットワーク」の事務局でもある岡山の北長瀬コミュニティフリッジのシステム・ノウハウをフルスペックで再現することがようやくできてきました。2022年度の早いうちに24時間365日無人で利用できる状況にできそうです。

コミュニティフリッジは【食品ロス×生活困窮・こどもの貧困×社会的孤立の解消】と3つの目標を掛け合わせたものとして考えています。ただ、当初より設置地域の地域性や団体の性格に強く影響をうけるだろうことを予想していました。実際、この半年間は「生活困窮支援」の意味合いの方がかなり強くなってしまい、必要になる食糧などの量が確保できないため、完全オープンが遅れています。

食品ロスの解消のための活動をより強くしていくことによって、バランスがとれてくると同時に生活支援・こどもの貧困支援については相談支援やひきこもり支援との連携によって活動を強化していきたいと思えます。

寝屋川コミュニティフリッジホームページ

https://peraichi.com/landing_pages/view/neyagawacomunityfridge/

クラウドファンディングへのご支援

ありがとうございました

「たすけあい」「困ったときはお互いさま」の気持ちで支えるみんな公共冷蔵庫（コミュニティフリッジ）を寝屋川につくりたい！

<https://congrant.com/project/neyagawa/3062>

2021年6月10日～8月31日まで実施させていただきました寝屋川コミュニティフリッジ設立のためのクラウドファンディング。57人の方から130万円のご寄付をいただきました。みなさまからいただきました寄付をもとに、寝屋川コミュニティフリッジを設置し、2021年10月29日から一部運営を開始、2022年6月1日から完全オープンすることになりました。

ほんとうにありがとうございます

費目	内容詳細	支出額
システムの維持、カギ管理システムに関する費用	システムの改修・カスタマイズ、ライセンス料等に関する経費、カギ管理システム（キュリオロック、カギカ）のシステムの維持（年会費）コミュニティフリッジネットワークへの支払い（入会金と年会費）	162,500
備品購入費	エアコン、照明設置	296,340
消耗品費	冷凍庫、バーコードスキャナー、タブレット、事務用品など（タブレット五台（設置用、事務用）バーコードスキャナー五台、冷凍庫一台など）	423,942
改装費	コミュニティフリッジ設置のための改装費	296,340
送料・手数料	支払い手数料、送料（銀行、クラウドファンディング手数料など）	55,194
合計		1,234,316

2021年12月の寄付月間キャンペーンでのクラウドファンディング「生活が苦しくなっている人、子どもたちとその家族にむけて「寝屋川コミュニティフリッジ」を通じて支援を行います。」は10人の方から193,000円のご寄付をいただきました。こちらの寄付金にて、寝屋川コミュニティフリッジを通じて生活困窮家庭への食糧支援を食料を購入する形で順次行わせていただいています。ほんとうにありがとうございます。

新型コロナウイルスの影響で、もっとも大きな影響を受けているのはボランティア活動です。また、寝屋川市の総合センターが地震と台風の影響で閉鎖になり、保健福祉センターも新型コロナウイルス関係の事業の影響で、私たちがお借りして、使うことができる部屋がどんどんなくなっています。そのため、ほとんどすべての活動ができなくなっています。

ボランティア活動

そんな中で、続けることができている活動は、寝屋川市民たすけあいの会が発足
 当時から続けさせていただいている【特別養護老人ホーム 寝屋川十字の園】への
 月1回の訪問活動です。

2021年度も途中、活動できない月もありつつ、計8回。訪問活動をさせていただ
 いています。現在は、縫製や布裁断などの活動が主になっています。

サロン系の人があつまってのボランティア活動もなかなか開催することが難しい中、【ボラン
 ティア・サロン＝「つなぐ発送」ボランティアは、引き続き開催しています。

4月、6月、8月、10月、12月、2月は、たすけあいの会での、「つなぐ」の発送作業を毎回
 2日間行っています

ハート・ アート展



【ハートアート展これまでのあゆみ】

寝屋川ハートアート展とは、大阪府寝屋川
 市内の精神科の医療機関や作業所に通って
 いるメンバーの作品を展示しています。第1期
 目の寝屋川ハートアート展は、2015年3月
 に開催しました。それから毎年開催し、2019
 年3月には、第5回目を迎えることが出来まし
 た。規模や内容ともにグレードアップしていま
 す。毎年3日間の開催ですが、約100作品を
 展示し、約400名の方に来て頂いています。
 2020年3月に開催する予定だった第6回寝
 屋川ハートアート展は新型コロナウイルス感
 染拡大の影響を受け延期になりましたが、初
 の試みでもある「WEB展」という形で開催し
 ました。
 今年度は、WEBとギャラリー展、同時開催とい
 うさらなる新しい方法で作品を楽しんでい
 ただける形となっております。
 ぜひ、素敵な作品との
 新しい出会いをお楽しみください！



【Club E&Tとは】

Empowerment&Try(エンパワメントと挑戦)の略で、同じ病を持つ仲間同士の共同活動の場や、
 市民ボランティアとの交流スペースを促進、整備、在宅の精神障がい者の社会参加を支援しています。
 協力団体:ねや川サナトリウム、三家クリニック、社会福祉法人みつわ会、寝屋川市民たすけあいの会

来場者数:280名

Youtube版 再生数
139回

<アンケート>
初めて来た 47%

2回目以上 51%

WEB会場へ
ようこそ

詳しくは特設サイトへ
QRコードが読めない場合は
「寝屋川ハートアート展」で検索



ちょっと立ち寄っていただきたい

2021年度はまだまだ新型コロナウイルスのパンデミックの影響で、事業・活動にさまざまな規制がかけられていました。そして、立ち退きの影響で、寝屋川市民たすけあいの会のたすけあいホーム（ボランティア・ビューロー）を失いました。

寝屋川市民たすけあいの会は、もともと、たくさんの方にふらっと立ち寄っていただけるところでした。そういった思いをこめて、新しいぼちぼちはうすと旧の建物の間に、四畳程度の小屋を設置しました

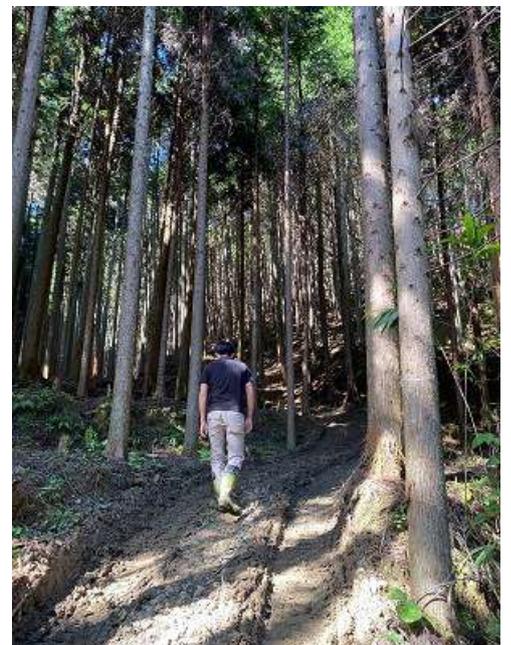


【トラベリングボックス】

東京のアトリエフルカワ一級建築士事務所が国産の地域材の活用促進のために企画・設計されています。今回は奈良の吉野杉 森庄銘木産業（株）様を使わせていただき、大阪市内の株式会社藏家（くらや）様が施行していただきました。

とてもよい、国産木材の杉の香りがします。

寝屋川市はなかなか木の少ないところです。将来的には、宇陀市の森荘さんの森に森林ツアーにこどもたちと行くことができたらいいなとおもいます



ひきこもり者支援

	男性	女性	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	相談元
新規	5	3	0	1	3	3	0	1	地域包括支援C 1、相談支援事業所 1、社協生活支援 2 保健所 2、障害福祉課 1、こ
継続	6	3	0	1	2	1	4	1	自立訓練事業所 1、保健所 2、市障害福祉課 2、社協CSW 1、地域包括支援C 2、定時制

2 ひきこもりの背景にある問題

背景にある問題（把握できた場合のみカウント）	男	女	計
発達障害か精神障害か軽度知的障害を有する	5	4	9
若年からの、あるいは3年以上に渡るひきこもり	8	2	10
10代半ばに既に躓きあり	4	3	7
家族なし、あるいは家族も問題を抱えているか、孤立している	8	4	12
職歴（アルバイト含む）なし	2	1	3
生活困窮あり（生活保護受給中の男性6女性3含む）	7	3	10
こうなればという欲なし	2	2	4

上記の問題 6個以上あり 男 1、
4個 男 6、女 3

3 相談・支援内容

相談があり連携継続対応 5	(市こども担当課 1、地域包括C 1、社協CSW 1、保健所 2)
相談があり、他機関につなぎ、その後も含め連携継続対応 4	(つなぎ先 社協生活支援1、地域包括C 1、相談支援事業所 1介護保険ケアマネ 1)
相談があり、単独支援したのち他機関につなぎその後も連携継続対応 1	(つなぎ先 クリニック+相談支援事業所 1、地域包括C 1)
相談があり、他機関につなぎ、そこでの支援が主となり、後方支援 3	(つなぎ先 就労継続支援事業所、保健所、社協生活支援)
紹介元支援スタッフが不在となり、支援者を増やし継続対応 2	(つなぎ先 地域包括C 1、当所ゆとりるプログラム)
方向性整理のみ 2	

寝屋川市民たすけあいの会のひきこもりつなぎ相談について

関係機関職員向けの電話、メールによる相談を平成28年4月より行っています。市民からの相談は直接は受けずに、相談・支援者に伴走し、つなぐというスタイルの相談を基本としています。

事例への支援を通して見えてきたこと

- ・新規の相談は、コロナ禍の影響が大きいと思われるが、減少した。
- ・新規相談の年齢は20代から60代まで様々であった。
- ・単一の機関だけの対応では困難な事例の相談があがるという性質上当然とも言えるが、背景として問題を複合的に抱えている事例が多かった。
- ・7割弱に生活困窮課題があった。
- ・10代半ばに躓きがあり、その要因として精神疾患や発達障害や軽度知的障害がある事例が多くみられた。

◎ 関係機関と連携して支援することで、複雑な背景のある事例についても見通しが見えてきています。

◎8050事例を積極的に発見し、粘り強くフォローし、支援体制を作っていくことが大切で、地域包括支援センターとの連携がキーになると考えられます。

- ・対象の高齢者から子にひきこもり課題があることを聞き取り粘り強く相談を勧めてつないでくれ連携対応しました
- ・ひきこもり事例から、高齢の親のアルコール問題について相談があり、地域包括の協力を求め、現実可能な関りを共に検討させていただいています。
- ・親子で共依存になっている事例では、親の介護に本人が口出してトラブルに発展した際、連携対応し、介護サービスが途切れるのを防ぐことができました
- ・地域の見守り支援機関として、高齢の親を虐待して追い出し、单身となった50代のひきこもり事例にも、引き続き連携対応してくれている地域包括Cもあります。

◎ 緊急事態が起こった際のタイムリーな支援が重要だと考えます。

- ・社協と共に単身男性のいわゆる「ゴミ屋敷」事例に連携して支援してきたが、失火により全焼し、全てを失う出来事が起きた。連携して緊急対応し、新たな生活基盤整備の観点から連携した支援を作り直しています。
- ・2人暮らしの高齢の親が急に体調をくずして入院し、半月後に死亡することが起きた際、本人にそれまでに扉越しの声かけを保健所と共に続けてきたことを活かし、父のケアマネジャーとも連携し、対応した。初めて本人に出会うこともでき、困り感に寄り添い、手続き等の具体的な応援を行うことで信頼関係ができ、その後の生活基盤作りもスムーズに行うことができました。

◎ 生活困窮者支援を加味する必要性がある場合が多くみられます。

- ・社協生活困窮者支援事業担当者との連携が重要です。
- ・コミュニティフリッジを活用して働きかけ、相談支援につなげられた事例もありました(2人)。

今後に向けた課題

- ・就労に結び付けることは難しく、しかも生きづらさを障害と捉えることも不相当と考えられる事例をサポートできる仕組みがほぼ無い。
- ・緊急事態が起こった場合や、具体的な生活支援を要することが起こった場合に障害福祉サービスの対象ではない「ひきこもり状態」の人は、利用できるサービスがなく、制度上の相談支援担当者も明確でなく、何の支援も受けられず孤立したままになるリスクがある。
- ・10代半ばに躓きがあった事例が多く、ひきこもりの長期化防止の視点からも、しっかりした対応が求められる。しかし、その年代は支援者になってくれる立場の人が少なく、めざしている「連携対応」がどのようにできるかが見えにくい。
- ・障害があり、通院以外は社会とのつながりがない人について、ひきこもりという視点から相談があがり、連携対応する事例が毎年あり(新規2人)、相談機能を加味したプログラムの工夫が必要。
- ・本人だけではなく一家の孤立防止を地域の課題として考えていくことが大切。
- ・ひきこもり状態のまま社会から孤立している人を積極的に発見し、必要な場合は相談支援に結び付けられるようにするための発信(セミナーの開催など)は今後も重要。
- ・併せて、本人が自分のペースで対人交流したり、やり甲斐を感じられる体験ができたり、無理なく働く経験ができるような、機会作りの検討も必要。

寝屋川市民たすけあいの会の相談支援は、寝屋川市から委託を受けて運営をしている障害者相談支援事業と、病院や施設からの退院、地域移行・地域定着を支援する一般相談と、サービスの利用を支援する計画相談・障害児相談、そして、それらの相談の枠にはまらない「福祉相談」があります。

また、寝屋川市からは障害者虐待防止センター事業の一部と、ピアカウンセリング、寝屋川市自立支援協議会の運営にかかる事務局事業の補佐的役割も委託されています。

相談支援

1) 相談支援の状況

2020年度にひきつづき、年間だいたい7000～8000件の相談・支援を行っています。2020年は新型コロナに関係することが多かったですが、2021年度はそれに限らず、さまざまな相談内容の相談が増加しました。生活支援全体のマネジメント・調整が多いのは以前から引き続きになりますが、退院支援や生活上の手続きの支援、下半期には生活困窮に絡んだ支援が激増しました。

2) 寝屋川市自立支援協議会の事務局事業の補佐活動

寝屋川市自立支援協議会は平成18年度に発足しました。寝屋川市障害者計画の各期にあわせて、その内容、事業を変えながら、そのときの活動に取り組んでいます。現在は、事務局会議の他に、5つの部会（就労、精神、障害児、地域活動、相談）があり、三層構造（実務レベルの会議、専門会議、サブワーキング）で活動をつづけています。私たちは、その活動に一機関として参加するだけでなく、運営にも補佐的に携わっています。

ヘルパーステーション

寝屋川市民たすけあいの会の運営する障害者総合支援法のヘルパー事業は、重度訪問介護、行動援護、移動支援、重度障害者等包括支援になります。どの事業も現在、利用者の募集はしていません

くらし支援

新型コロナの影響をもう一つ大きく受けているのは【くらし支援】です。全介助・支援の必要な方は支援がなければ生きていくことができません。最大限の感染対策をしながら支援を行いますが、ご本人たちも支援者のフラストレーションもMAXです。必須なひとり暮らしはとにかく継続。ですが、体験的、補助的な泊まりはなかなか実施することが難しいです。



多久寛子さんの一人暮らしの様子が、小中学生向けの福祉ボランティアの教科書的な書籍に、取材の一部として取り上げられることになりました。

掲載された写真です



【ソーシャルワークアカデミーの開催】

NPO法人みらいず2さんとの共済事業
年間 全6回の有料のオンラインセミナーを行っています。



【大学などへの講師として】

- ・追手門学院大学
- ・神戸女学院大学
- ・関西学院大学
- ・日本福祉大学
- ・京都光華女子大学 などへ
講師、ゲストスピーカーとして

【イエローレシート・キャンペーン】

四條畷イオンで参加中



【スタッフ研修 B】

株式会社イノベーションとの合同研修「人と向き合うこと」

初めての他事業所との合同研修。両事業所とも、様々な支援や研修に取り組んでいますが、支援のスキルアップではなく、その前提にある「(人と)向き合う」ことに焦点をあて、考えることをテーマとしました。これまでの内部研修にはなかった緊張感とともに、自分の考えを言語化し、伝えることをより意識する研修になりました。開催は少人数ごと、3回開催。事前うちあわせも重ね続けての開催になりました。

【スタッフ研修 A】

「私が語るたすけあいの会～ゆっぴいの城～」

内部研修。新しいスタッフも入ったこともあり、久しぶりの開催。今回は今回で新しい取り組みも。



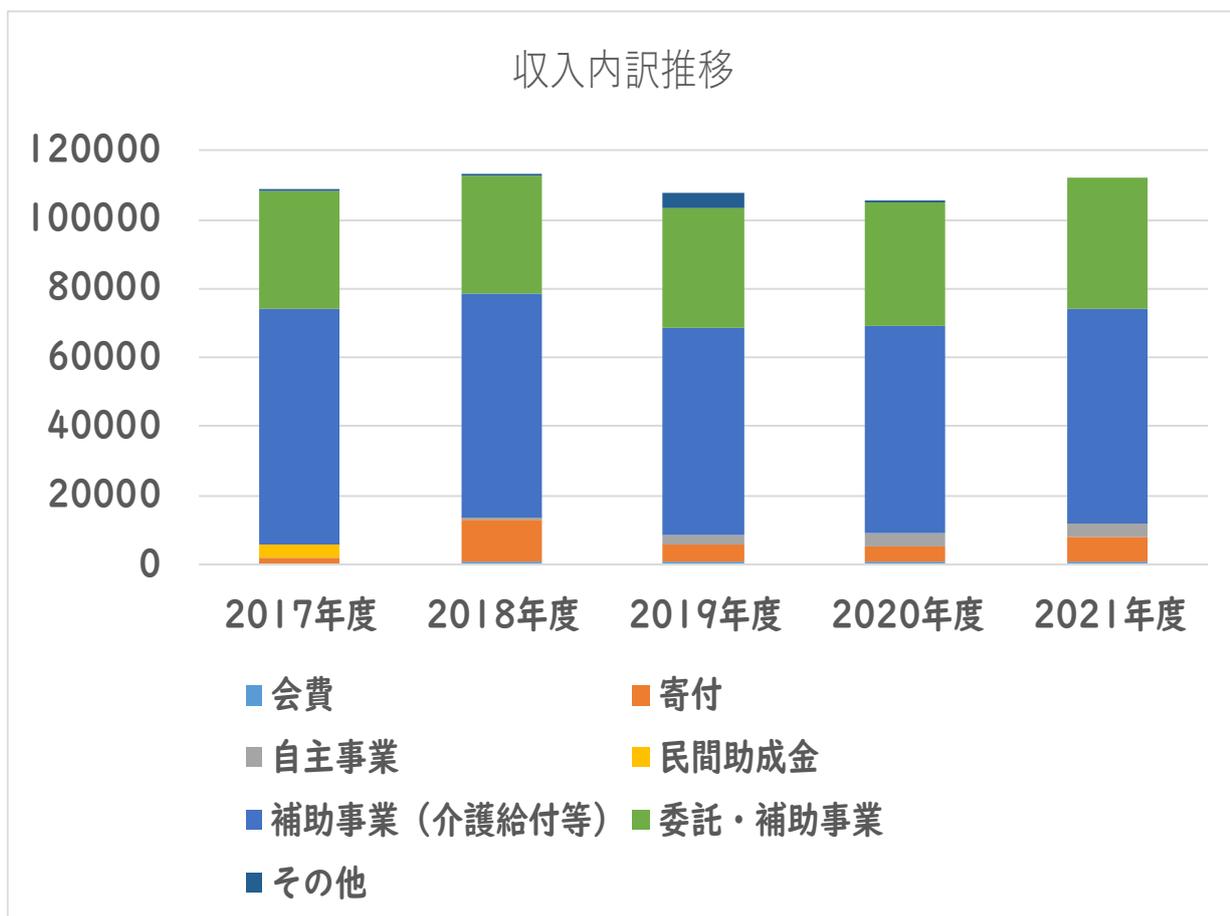
一人暮らしの方用の家電製品（冷蔵庫、洗濯機、電子レンジなど）や家財道具の寄付をいただき、それをストックしておき、相談いただいたケースで、提供させていただきます。



決算情報公開

【財務状況】

- ・ここ数年と同じく、非営利事業（寄付や会費など）は黒字で、その他の事業（介護事業など）は赤字です。その他の事業の赤字を寄付で補って黒字というスタイルが続いています。今年度は数年前の助成金の返金分の計上漏れを計上しているため、額面上も赤字になっています。
- ・法人の全体の「資産」は2020年度が6000万円弱だったものが、今年度で8700万円と1.5倍近くになりました。
- ・ぼちぼちはうす建設などのために近畿ろうきん様から3500万円の借入れをしましたので、その返済が月に15万円ずつ23年間続きます。
- ・2021年度から法人として建物をもちましたので、その分にかかわる支出が増えています
- ・2022年度から一年間の猶予期間が終わり、地代が正規の金額に変わります。今年度の約倍になります。
- ・5年間の経年状況のグラフが以下になります。2018年の寄付は台風21号の被災に際してのものですが、20、21年度も、事業の形態を変え、自主事業と寄付金の募集を積極的に展開しています。



貸借対照表 (2022年3月31日時点)

科目		金額	科目		金額	
流動資産	流動資産 合計	38,509,716	流動負債	流動負債 合計	3,549,372	
	現金及び 預金	21,790,964		短期借入金 ④	1,298,567	④近畿ろうきんからの 借入の次期返済分
	未収入金	16,056,441		未払費用	2,250,805	
	前払費用	635,141	固定負債	固定負債	32,740,203	③ぼちぼちはうす建設 などのための近畿ろう きんからの借入3500 万円の残り返済金
	預託金	27,170		長期借入金 ③	32,740,203	
			負債合計	36,289,575		
固定資産	固定資産 合計	48,983,642	正味財産の部			①有形固定資産は今 回、ぼちぼちはうすを 自分たちで建設しまし たので、それが資産と して計上されていま す。 ②無形固定資産は寝屋 川市長栄寺町5-1の 借地権。その他の資産 は保証金になります
	有形固定資産 ①	45,940,402	正味財 産	前期繰越正味財 産	52,598,465	
	無形固定資産 ②	466,840		当期正味財産増 加額	▲ 1,394,682	
	投資その他 の資産	2,576,400		正味財産合計	51,203,783	
資産合計	87,493,358	負債及び正味財産合計	87,493,358			

<支出の部>	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
当期支出合計	112,073	103,849	105,086	101,944	111,621
次期繰り越し	37874	46831	49651	52598	51203

2021年度 活動計算書

2021年4月1日から2022年3月31日まで

(単位:円)

科 目	特定非営利活動に係る事業	その他の事業	合 計
I. 経常収益			
1. 受取会費	514,000	0	514,000
2. 受取寄付金	7,415,651	0	7,415,651
3. 受取助成金	0	59,215	59,215
受取補助金	10,000	37,907,718	37,917,718
4. 事業収益			
介護報酬・移動支援収益／利用者負担	0	63,947,775	63,947,775
受取講師料	0	2,057,958	2,057,958
その他バザー、Tシャツなど売上高	0	10,500	10,500
5. 受取利息	0	327	327
雑収益	0	53	53
経常収益計	7,939,651	103,983,546	111,923,197
II. 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費	0	81,459,229	81,459,229
(2) その他経費			
業務委託費	0	8,668,325	8,668,325
旅費交通費	1,520	191,703	193,223
車両費	0	305,051	305,051
車両燃料費	0	401,400	401,400
通信運搬費	95,914	534,503	630,417
消耗品費	459,984	3,364,305	3,824,289
衛生品費	0	133,500	133,500
ぼちぼちはうす活動費	0	716,719	716,719
修繕費	0	490,490	490,490

昨年度、ほぼなかった減価償却費ですが、今年度、新しいぼちぼちはうすを法人として建設したりしましたので、多額の減価償却費の計上になります。

2019年度の医療福祉機構からの助成金の返金の計上になります。(助成金は使わなかった分は返さないといけません)

2018年度の医療福祉機構からの助成金の返金の計上になります。(助成金は使わなかった分は返さないといけません)

今年度から支出項目が家賃から地代になります。項目じだいは「地代家賃」なので、見た目は変わりませんが

水道光熱費	0	1,525,714	1,525,714
食材費	39,689	498,017	537,706
地代家賃	0	4,516,092	4,516,092
賃借料	15,000	0	15,000
新聞図書費	0	26,555	26,555
保険料	155,300	811,630	966,930
広告宣伝費	12,520	48,400	60,920
諸会費	162,500	23,600	186,100
租税公課	0	314,654	314,654
研修費	0	70,000	70,000
支払手数料	88,575	589,925	678,500
支払報酬料	0	1,200,320	1,200,320
ソフトウェア関連支出	0	1,001,835	1,001,835
雑費	0	64,130	64,130
その他経費計	1,031,002	25,496,868	26,527,870
事業費計	1,031,002	106,956,097	107,987,099
2. 管理費			
(1) 人件費給料手当	0	600,000	600,000
(2) その他経費接待交際費	0	0	0
減価償却費	612,048	1,677,801	2,289,849
リース料	0	376,256	376,256
支払利息	0	368,213	368,213
その他経費計	612,048	2,422,270	3,034,318
管理費計	612,048	3,022,270	3,634,318
経常費用計	1,643,050	109,978,367	111,621,417
当期経常増減額	6,296,601	△ 5,994,821	301,780
雑損失	0	1,616,462	1,616,462
経常外費用計	0	1,616,462	1,616,462
税引前当期正味財産増減額	6,296,601	△ 7,611,283	△ 1,314,682
法人税、住民税及び事業税		80,000	80,000
当期正味財産増減額	6,296,601	△ 7,691,283	△ 1,394,682
前期繰越正味財産額			52,598,465
次期繰越正味財産額			51,203,783



会員、寄



月額寄付
サポーター
募集中



寝屋川市民たすけあいの会への寄付は、寝屋川コミュニティフリッジやひきこもり支援、貧困な子どもたちの支援など制度では支援できない活動に活用させていただきます。

人 ♥ 夢 ♥ ところをつなぎます

【編集】NPO法人 寝屋川市民たすけあいの会

〒572-0061 大阪府寝屋川市長栄寺町5番1号

✉ nc4@nifty.com <http://neyagawatasukeai.org>



定価 50円

【発行所】大阪身体障害者団体定期刊行物協会

〒573-0017 枚方市印田町14-17 下野方